

期末テストも終了しました！

期末テストもやっと終了し、とうとう7月を迎えました。空梅雨かと思わせた天気も梅雨らしくなり、ジメジメした空気が肌にまとわりついてきます。雨がなかなか降らないときは「梅雨なんやで雨が降ってもええなあ」なんて思っていたのですが、日本の夏特有の蒸し暑さに早くもまいってしまいそうです。そんな中ですが、生徒のみなさんは蒸し暑さに負けず、テスト終了から部活動の元気な声を響かせています。

期末テストが終わってしまうと、あとは夏休みを待つだけという気持ちになりがちですが、ちょっと待ってください。まだ、夏休みまでは3週間もあります。もちろん、ギリギリまで授業もあります。気を抜いてしまうのはまだまだ早いといえます。気を抜かず、最後までしっかり授業や家庭学習に取り組んでください。そして、7月12日(水)から14日(金)におこなわれる三者懇談会までに、1学期の反省をしておいてください。中間テスト、期末テストの取り組みや結果からは、1学期の学習への取り組みが見えてくるはずですが、授業に取り組む姿勢はどうだったのか、発言はしたか、提出物は出したか、その内容はどうか(答え丸写しではありませんか?)・・・、などなど反省することはいっぱいあるはずですが、他にも、部活動にはしっかり取り組めたか、クラスの一員として役割を果たせたか、友達とうまく付き合えたかなど、学習以外のことも大切です。1学期を終了して夏休みを迎えるにあたり、一度、中学校生活をふり返ってみましょう。三者懇談会で成績以外にもそういったお話ができれば、夏休みをどうやって過ごせばいいかがわかってくると思います。もちろん、“反省”とはダメなことばかりではなくて、良かったことは良かったこととして振り返ることも必要です。失敗したことも、良かったことも、すべてが自分の教材です。これから先、成長していくためにひとつの節目として1学期の終了を迎えてほしいと思います。

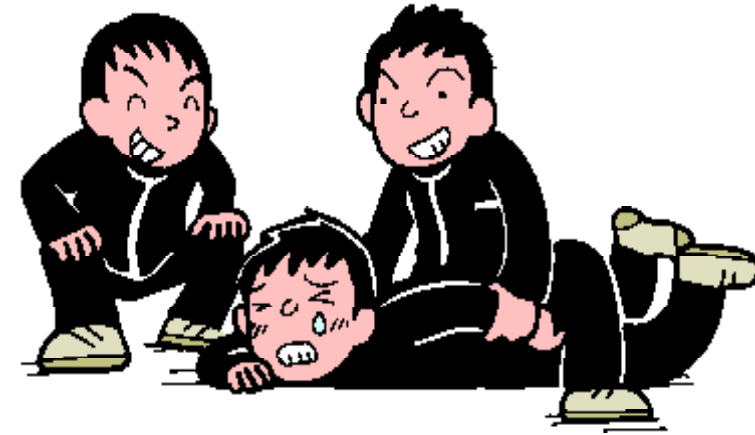
三者懇談会では連絡表が渡されますが、その中には9教科の成績が記入されています。



小学校では◎・○・△で表されていた教科の成績が、初めて5段階でつけられています。成績については『輪中っ子』No.9でお知らせしてあるので、もう一度読み返してみてください。テストの点数だけで成績がつくわけではありません。かといってテストがどうしてもいいわけではありません。要は自分が精いっぱい努力できたかということだと思います。『才能は有限。努力は無限』という言葉を知っています。いくら才能があっても努力を怠ると成長することはできません。少々才能に劣るところがあっても、それは努力でカバーできるはずですが、才能が…ということをお願いせず、自分を成長させてください。

～課題が見えてきました！～

少し前から、そうではないかと思っていましたが、今回のテストではっきり課題が見えてきました。それは、“自分のこととしてしっかり聞けない”こと、“目的を持ってきちんと読めない”ことです。入学当初は、静かにしっかり話を聞く生徒たちだなぁと思ってきましたが、それにしては提出物が出なかったり、ホワイトボードに書いてある



教科の連絡がみんなのものになっていなかったりということが何度もありました。こんなことから徐々に、静かに聞いているフリ(失礼!)はしているが、しっかり聞いて頭に入れていないのではないのではと思えてきました。今回のテストでも、授業で何度も確認していることがわかってい

なかったり、問題で求められているのと違った答え方をしたりと、首をかしげるようなことがたくさんありました。本人としては“聞いている”つもり、“読んでいる”つもりでも、“自分のこととしてしっかり聞けていない”、“目的を持ってきちんと読めてない”のかもかもしれません。“聞く”にしても“読む”にしても、いったん頭に入れ、それについて考えることが必要です。しかし、それができない人がたくさんいるのだと思います。通常の学校生活でも、自分のことしか考えられずに、他に迷惑をかけていることに気づかないことがあります。自分が楽しいからといって他の人が楽しいとは限らないのに、そんなことには思いが及ばないのはとても残念です。これは、自分のことだけしか考えられず、他人を思いやれないことに通じかねません。“しっかり聞く”“きちんと読む”ということは、考えるということとセットであり、自分が周りを見られるように成長することにつながるということを意識してほしいと思います。